

運輸安全マネジメント公表（2017年度）

（貨物自動車運送事業法第24条の3で定める輸送の安全に関わる情報）

名阪急配株式会社

	項目	詳細														
1	輸送の安全に関する基本的な方針	当社は、安全を最優先した環境をつくり、社員一同、地域・社会に貢献し、事故ゼロを目指す。														
2	重点施策	①全社員の安全意識の向上と検証 ②健康管理、労働時間管理の徹底														
3	輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況	<p>【2017年度目標】</p> <p>① 車両事故を撲滅し安全運転の励行とクレームゼロを目指す（全体件数前年比30%減）</p> <p>【達成状況】 車両事故・クレームとも未達成</p> <table border="1" data-bbox="663 696 1477 815"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2016年度</th> <th>2017年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加害事故</td> <td>49件</td> <td>57件</td> </tr> <tr> <td>クレーム件数</td> <td>12件</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2016年度	2017年度	加害事故	49件	57件	クレーム件数	12件	10件					
項目	2016年度	2017年度														
加害事故	49件	57件														
クレーム件数	12件	10件														
4	自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計	<table border="1" data-bbox="663 831 1477 904"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2016年度</th> <th>2017年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当する報告</td> <td>2件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2016年度	2017年度	該当する報告	2件	0件								
項目	2016年度	2017年度														
該当する報告	2件	0件														
5	輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置	<table border="1" data-bbox="663 922 1477 2163"> <thead> <tr> <th>講じようとした措置</th> <th>講じた措置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会的影響の大きい事故などを様々なアプローチで提供することにより、全従業員の安全意識を向上させます。</td> <td>他社事故や安全に関する法令等改正などの情報を掲示や回覧等により全従業員に周知させ、安全への意思を実施しました。</td> </tr> <tr> <td>事故情報は要因分析を行い、その結果を展開することにより、効果的な再発防止策を立て、事故を抑制します。</td> <td>加害事故発生時は、再現テスト等を行って分析し、より効果的な再発防止策を立て実行しました。</td> </tr> <tr> <td>事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、効果的活用ができる様な手法を作ります。</td> <td>加害事故発生時、上記による分析結果や再発防止策を複数回全従業員に向け発信し、事故防止に向けた意識の向上を行いました。また、一部センターにおいて、ドラレコ映像を用いたヒヤリ・ハット情報の収集を行い、運転手への教育を行いました。</td> </tr> <tr> <td>担当部署による健康管理及び労働時間管理を徹底し健康起因、過労起因による事故防止を行います。</td> <td>「健康管理の徹底」については、健康診断の完全実施と健康に関する教育の充実により健康起因による事故の発生をなくしました。また労働時間管理は、デジタルタコグラフにより各担当部署が管理し、コンプライアンス委員会にて内容の確認を行いました。</td> </tr> <tr> <td>安全機材の継続導入を行います。</td> <td>webで確認できるGPS付ドライブレコーダー連動型デジタルタコグラフを導入しました。</td> </tr> <tr> <td>健康管理のため機材導入を行います。</td> <td>一部センターに、従業員が自由に測定できる血圧計を設置しました。</td> </tr> </tbody> </table>	講じようとした措置	講じた措置	社会的影響の大きい事故などを様々なアプローチで提供することにより、全従業員の安全意識を向上させます。	他社事故や安全に関する法令等改正などの情報を掲示や回覧等により全従業員に周知させ、安全への意思を実施しました。	事故情報は要因分析を行い、その結果を展開することにより、効果的な再発防止策を立て、事故を抑制します。	加害事故発生時は、再現テスト等を行って分析し、より効果的な再発防止策を立て実行しました。	事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、効果的活用ができる様な手法を作ります。	加害事故発生時、上記による分析結果や再発防止策を複数回全従業員に向け発信し、事故防止に向けた意識の向上を行いました。また、一部センターにおいて、ドラレコ映像を用いたヒヤリ・ハット情報の収集を行い、運転手への教育を行いました。	担当部署による健康管理及び労働時間管理を徹底し健康起因、過労起因による事故防止を行います。	「健康管理の徹底」については、健康診断の完全実施と健康に関する教育の充実により健康起因による事故の発生をなくしました。また労働時間管理は、デジタルタコグラフにより各担当部署が管理し、コンプライアンス委員会にて内容の確認を行いました。	安全機材の継続導入を行います。	webで確認できるGPS付ドライブレコーダー連動型デジタルタコグラフを導入しました。	健康管理のため機材導入を行います。	一部センターに、従業員が自由に測定できる血圧計を設置しました。
講じようとした措置	講じた措置															
社会的影響の大きい事故などを様々なアプローチで提供することにより、全従業員の安全意識を向上させます。	他社事故や安全に関する法令等改正などの情報を掲示や回覧等により全従業員に周知させ、安全への意思を実施しました。															
事故情報は要因分析を行い、その結果を展開することにより、効果的な再発防止策を立て、事故を抑制します。	加害事故発生時は、再現テスト等を行って分析し、より効果的な再発防止策を立て実行しました。															
事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、効果的活用ができる様な手法を作ります。	加害事故発生時、上記による分析結果や再発防止策を複数回全従業員に向け発信し、事故防止に向けた意識の向上を行いました。また、一部センターにおいて、ドラレコ映像を用いたヒヤリ・ハット情報の収集を行い、運転手への教育を行いました。															
担当部署による健康管理及び労働時間管理を徹底し健康起因、過労起因による事故防止を行います。	「健康管理の徹底」については、健康診断の完全実施と健康に関する教育の充実により健康起因による事故の発生をなくしました。また労働時間管理は、デジタルタコグラフにより各担当部署が管理し、コンプライアンス委員会にて内容の確認を行いました。															
安全機材の継続導入を行います。	webで確認できるGPS付ドライブレコーダー連動型デジタルタコグラフを導入しました。															
健康管理のため機材導入を行います。	一部センターに、従業員が自由に測定できる血圧計を設置しました。															

6	輸送の安全に係わる情報の伝達体制その他の組織体制	<p>①情報の伝達体制については、下記会議体にて伝達し共有しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・830会議（毎週月曜日開催） ・部内会議（毎月開催） ・安全衛生推進会議（毎月開催） ・コンプライアンス委員会（毎月開催） <p>②事故・災害発生時の情報伝達組織体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙②-1 ・別紙②-2 参照 													
7	輸送の安全に関する教育及び研修の計画・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1066 479 1482 524">実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="667 524 1066 674">新人教育・一般教育を従来通り実施します。</td> <td data-bbox="1066 524 1482 674">新人教育・・179名 一般教育・・毎月1回計12回 店舗巡回・・1067件 添乗指導・・105名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 674 1066 831">パソコンを用いた教育手法「eラーニング」について、内容の充実を行い幅広く活用できるよう改善します。</td> <td data-bbox="1066 674 1482 831">内容の充実が計れず活用が一部センターになってしまった。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 831 1066 981">管理者への教育、研修を従来通り実施します。</td> <td data-bbox="1066 831 1482 981">管理者全員に毎月1回資料を配布し教育を実施しました。外部の講師による管理者講習会を1回開催しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 981 1066 1131">事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、手法を管理者へ教育し、管理者全体の意識を高めます。</td> <td data-bbox="1066 981 1482 1131">安全衛生推進会議の時間を利用し、外部講師による安全講習会を1回実施しました。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="667 1131 1066 1256">事故・災害発生時等の情報伝達組織体制の機能確認のため訓練を行います。</td> <td data-bbox="1066 1131 1482 1256">一部センターで実施しました。</td> </tr> </tbody> </table>		実施状況		新人教育・一般教育を従来通り実施します。	新人教育・・179名 一般教育・・毎月1回計12回 店舗巡回・・1067件 添乗指導・・105名	パソコンを用いた教育手法「eラーニング」について、内容の充実を行い幅広く活用できるよう改善します。	内容の充実が計れず活用が一部センターになってしまった。	管理者への教育、研修を従来通り実施します。	管理者全員に毎月1回資料を配布し教育を実施しました。外部の講師による管理者講習会を1回開催しました。	事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、手法を管理者へ教育し、管理者全体の意識を高めます。	安全衛生推進会議の時間を利用し、外部講師による安全講習会を1回実施しました。	事故・災害発生時等の情報伝達組織体制の機能確認のため訓練を行います。	一部センターで実施しました。
実施状況															
新人教育・一般教育を従来通り実施します。	新人教育・・179名 一般教育・・毎月1回計12回 店舗巡回・・1067件 添乗指導・・105名														
パソコンを用いた教育手法「eラーニング」について、内容の充実を行い幅広く活用できるよう改善します。	内容の充実が計れず活用が一部センターになってしまった。														
管理者への教育、研修を従来通り実施します。	管理者全員に毎月1回資料を配布し教育を実施しました。外部の講師による管理者講習会を1回開催しました。														
事故情報、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用について、手法を管理者へ教育し、管理者全体の意識を高めます。	安全衛生推進会議の時間を利用し、外部講師による安全講習会を1回実施しました。														
事故・災害発生時等の情報伝達組織体制の機能確認のため訓練を行います。	一部センターで実施しました。														
8	輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="667 1256 1066 1301">内部監査年1回</th> <th data-bbox="1066 1256 1482 1301">監査結果及び措置内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="667 1301 1066 1525">2017年8月： トップインタビュー 2017年10月： 安全統括管理者インタビュー 2017年11月： 小牧冷凍センター内部監査実施</td> <td data-bbox="1066 1301 1482 1525">トップから現場までの流れで監査が実施できました。 小牧冷凍センターは開所間もないセンターで、書類の整理が統一されていませんでしたが、是正箇所はありませんでした。</td> </tr> </tbody> </table>		内部監査年1回	監査結果及び措置内容	2017年8月： トップインタビュー 2017年10月： 安全統括管理者インタビュー 2017年11月： 小牧冷凍センター内部監査実施	トップから現場までの流れで監査が実施できました。 小牧冷凍センターは開所間もないセンターで、書類の整理が統一されていませんでしたが、是正箇所はありませんでした。								
内部監査年1回	監査結果及び措置内容														
2017年8月： トップインタビュー 2017年10月： 安全統括管理者インタビュー 2017年11月： 小牧冷凍センター内部監査実施	トップから現場までの流れで監査が実施できました。 小牧冷凍センターは開所間もないセンターで、書類の整理が統一されていませんでしたが、是正箇所はありませんでした。														
9	安全管理規程・安全統括管理者	<p>安全管理規程・・・別紙参照</p> <p>安全統括管理者・・・常務取締役 佐藤 清貴</p>													
10	事業者の行政処分情報	2017年度処分はありませんでした。													